

(案)

令和7年8月7日

大多喜町長 平 林 昇 様

大多喜町総合開発審議会
会長 渡 辺 忠 洋

大多喜町第4次総合計画に係る基本構想（案）について（答申）

令和6年7月30日付大企企第26号で意見を求められた大多喜町第4次総合計画に係る基本構想（案）について慎重に審議した結果、その内容は、おおむね適切なものと認めます。

なお、下記の事項について配慮するよう意見を付して答申します。

記

- 1 基本構想内に「持続可能な」という言葉が多用されポイントとなる言葉であるため、将来像のどこかに「持続可能な」という言葉を付け加えていただきたい。
- 2 10年後の目標人口を7,000人としているが、推計人口より500人増えているので、人口増に向けた施策などを基本計画の中で位置付けていただきたい。
- 3 土地利用の方向性の「ゾーン」については、地理的な分け方ではなく機能としての分け方とのことだが、地理的要因により住民に不利益とならないようにしていただきたい。
- 4 今後の農業では、農業の大規模化、効率化を進めるのと並行して、中小の個人兼業農家を確保することが必要と考えられるので、「農業ゾーン」に「大規模な農地には大企業農業法人を導入し、小規模の集積農地には個人の兼業農家をバランス良く確保する」というような文言を付け加えていただきたい。
- 5 町内企業の説明会や就職セミナーを開催し、町内に就職先となる企業があることを知ってもらい、移住促進や定住化対策を進めていただきたい。